6つのポイント集　縫う準備、糸調節の方法

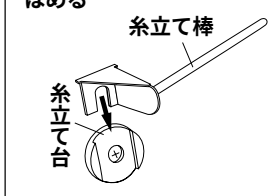
型式：AG-002 N HC

取扱説明書２～１２ページの「ミシン各部の名前」「縫うための準備」を読まれると、より理解しやすくなります。

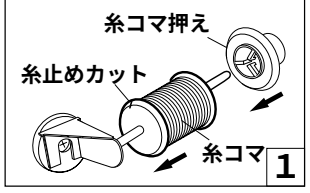
STEP 1 下糸の巻き方 (P.7)

〈後側〉

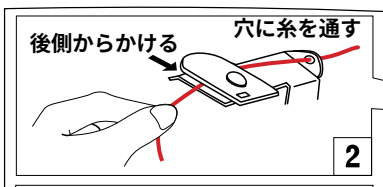
付属品の糸立て棒を上からはめる



糸立て棒に糸コマを入れ、糸コマ押えをはめる

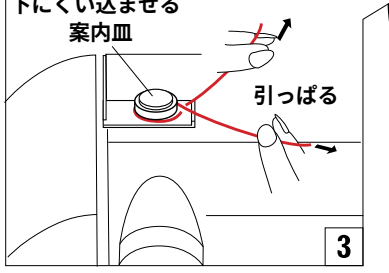


1

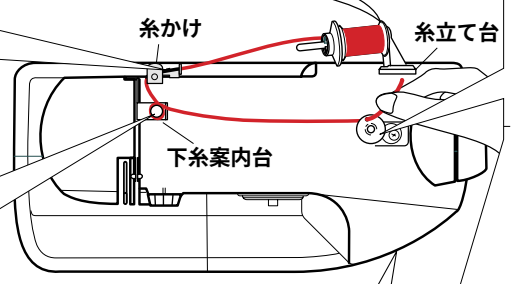


2

案内皿に時計まわりに一度だけ巻き付け両手で糸を引っぱり、案内皿の下にくい込ませる

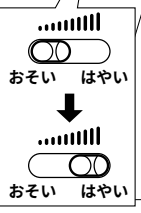


3

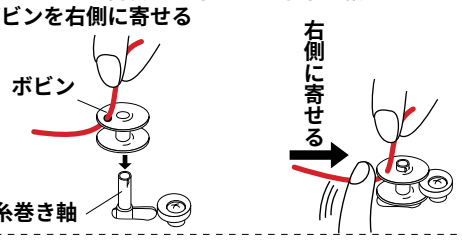


・最初に巻く時は「おそい」に合わせる

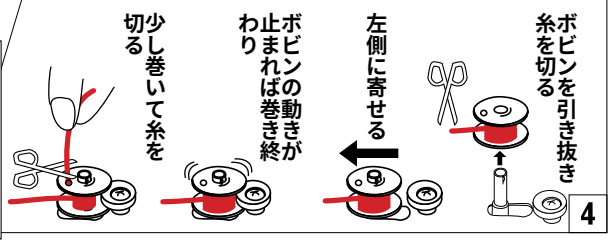
・少し巻いた後は「はやい」に合わせる。



・ボビンの穴に内側から糸を通し下糸巻軸に差込む
・ボビンを右側に寄せる



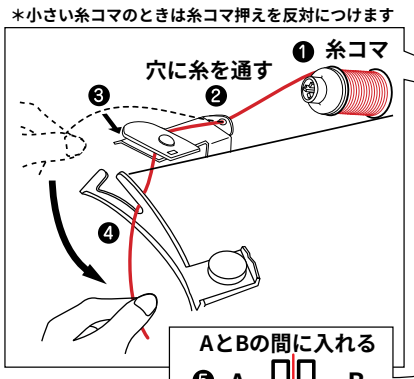
・糸の端を持ちながらミシンを動かし、少し巻いてからミシンを止めて余分な糸を切る
・ミシンを再び動かして、ボビンの動きが止まるまで巻いてからミシンを止める
・左側に寄せてからボビンを引き抜く

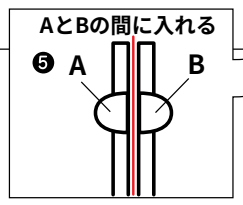


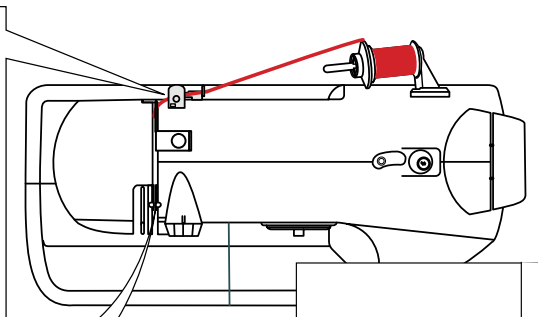
4

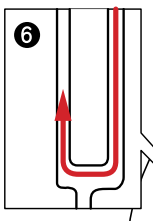
STEP 2 上糸のかけ方 (P.9)

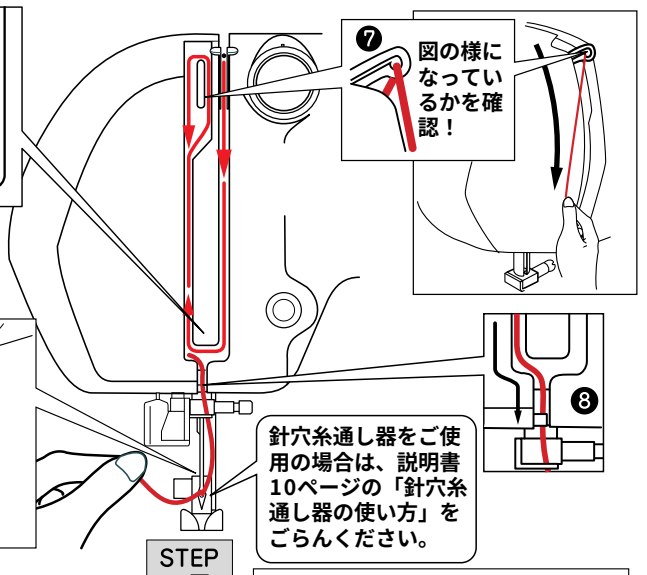
＊小さい糸コマのときは糸コマ押えを反対につけます



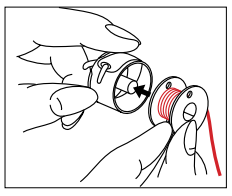




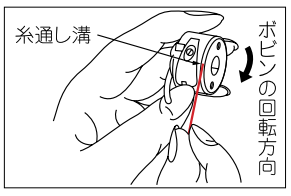




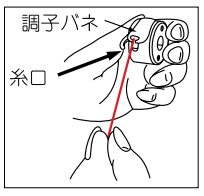
STEP 3 ボビンケースの取りつけ方 (P.8)



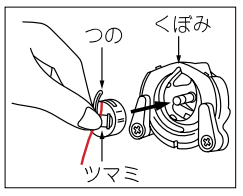
10cmほど糸を引き出しておきボビンケースの中に入れる



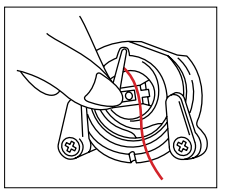
糸をボビンケースの糸通し溝に入れる。
＊糸を引張った時、ボビンは時計周りする



糸を左へひっぱり調子バネの下を通して糸口から出す

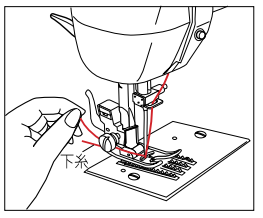


ツマミを起こして持ち、つのをミシンの釜のくぼみに合わせて差込む



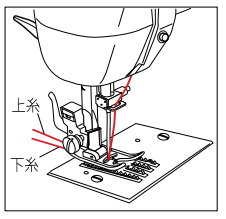
しっかり差込んだ後ツマミをはなして、糸は手前にたらしておく

STEP 4 下糸の引き上げ方 (P.11)



左手で上糸を持ち、はずみ車を手前に一回転させる

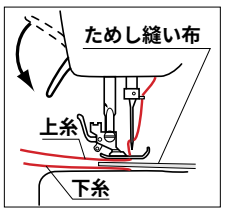
上糸を軽く引き上げると下糸が引き出される



上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10cmほど引き出しておく

STEP 5 縫い始めの注意 (P.13)

⚠ 針に手を近づけないで下さい。



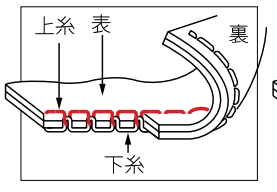
・はずみ車を手前に回して針を上げておき、押えを上げて布を入れる

・縫い始めの位置ではずみ車を手前に回して針を刺して押えを下げる

・布に軽く手を添えてスタートボタンを押す。

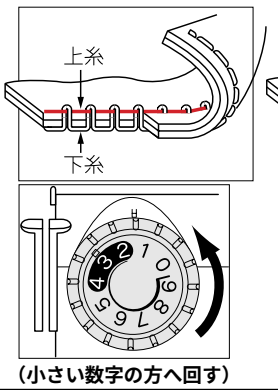
STEP 6 上糸・下糸調子のとり方 (P.14)

■糸調子が正しい場合



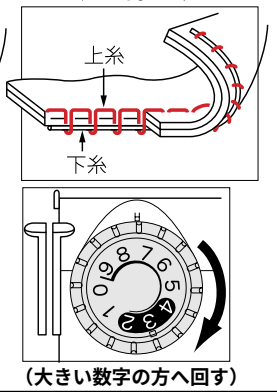
上糸と下糸が布の中間で交差し、布や糸がつれたり、たるんだりしていない状態

■上糸が強い場合



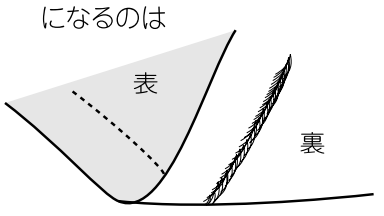
（小さい数字の方へ回す）

■上糸が弱い場合



（大きい数字の方へ回す）

■布の裏側の糸がパイル状になるのは



・上糸調子が弱い
・押え上げレバーが上のまま
・上糸のかけ方が正しくかけられていない
もう一度確認してください。

このポイント集はミシンを使うときの基本的なことを抜粋したものです。
お使いになる前にもう一度、説明書をじっくりお読みください

株式会社 アックス ヤマザキ

20070331